

中 学 校	テーマ	成長への感謝と未来の自分		
	ねらい	自分史づくりなどをとおして、自分の成長を振り返り、自分が存在することに感謝と喜びを感じる。また、かけがえのない命を未来へつないでいこうとする思いを育む。		
	指導のポイント	事前	学習・体験	事後
	<p>【感動の体験】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分史をつくることにより、受け継がれたこの命の大切さを感じさせる。 幼児とのふれあいをとおして、育まれる命の素晴らしさにふれ、生きていることの喜びを感じさせる。 <p>【感性を育む】</p> <ul style="list-style-type: none"> 未来は自分で切り拓くという意志を持つことの大切さに気づかせる。 幼児との関わりの中で、自分の中のやさしさをふくらませ、かけがえのない命を育んでいこうとする喜びを感じさせる。 <p>【想像力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今の自分を肯定するために、今何をなすべきかを考えさせる。 一つの考えにこだわらず、いろいろな価値観を受容できる力を養わせる。 	<p>【先生の準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教員自身が自尊感情を高める体験をしたり、自己再発見の体験をしておく。 子どもの家庭環境や心身の状態等を把握し、事前事後の個別指導を充実させる。 家庭や地域との連携の上、学習や体験内容に配慮する。 <p>【教育課程上の位置づけ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 道徳 特別活動 総合的な学習の時間 <p>【子どもたちの準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今までの自分の成長を振り返り、思い出に残る品や写真を集める。 幼児とのふれあいの際、気をつけることを調べ、話し合っておく。 自尊感情を高める体験をする。 <p>【家庭・地域との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分が生まれるまでの家族の話をしてもらう。 幼児とのふれあいの際、気をつけることについて、家族でも話し合う。 地域の幼稚園や保育所に事前をお願いする。 	<p>自分史づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 思い出の品や写真を持ち寄って、自分史をつくる。 誕生から今までを振り返り、感動したことを中心にまとめる。 これからの私の生き方にも目を向け、未来の自分史もつくる。 <p>未来の自分への手紙</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分らしい生き方について考える。 多くの人との出会いと関わりの中で生きていくことに気づかせる。 <p>幼児とのふれあい体験</p> <ul style="list-style-type: none"> 一緒に遊ぶ。 様々な行事を一緒に行う。 幼児とのふれあい体験を振り返って、嬉しかったことや気がついたことなどについてグループで話し合う。 <p>ゲストティーチャーによる話</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育所・幼稚園の先生の話聞く。「幼児とのふれあいの喜び」 	<p>【子どもたちの予想される心の動き】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分もこんな時を過ごしてきたんだ。 今までいろんなことがあったけど、今、こうしてここにいる。 どんな自分になりたいか、どんな人生を送るのかは、私が決めることなんだ。 自分の一生なんて考えたことなかったな。 いろんな考え方や生き方があっていいんだ。 <p>【振り返りカードへの記入】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習・体験の後に、子どもたちに自分の心の動きを振り返らせ、振り返りカードに記入させる。 <p>【日常生活での実践・家庭との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習した体験について家族と話し合う。 自分が関わった幼児へ手紙を書く。 ボランティア活動に参加する。 <p>【先生の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> 未来への希望と願いを持たせることができたか。 手紙の内容から、子どもたちに周りに支られた命を実感させることができたか。 一つの考えにこだわらず、いろいろな価値観を受容できる力を養うことができたか。